

2024年2月2日

各位

会社名 株式会社 ペルセウスプロテオミクス

代表者名 代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉
(コード番号:4882 東証グロース)

問合せ先 取締役執行役員 管理部長 鈴川 信一

(TEL. 03-6264-8224)

PPMX-T003:真性多血症(PV)第I相試験終了時期変更のお知らせ

当社が開発中の抗トランスフェリン受容体1(TfR1)抗体 PPMX-T003 の PV 患者さんによる第 I 相試験(以下「本治験」)の終了時期につきまして、従来 2004 年 3 月末を予定しておりましたが、2024 年 6 月を見込むこととなりましたのでお知らせいたします。

本治験は、赤血球が異常に増殖する疾患である PV の患者さん 6 名を対象として、PPMX-T003 の投与における安全性及び体内薬物動態を確認することと、副次的に治療効果を確認することを目的とします。6 名のうち 4 名はすでに試験を終了しており、現在、残る 2 名の方へ漸増的に投与して経過観察を行っておりますが、それぞれの試験状況から、投与後の観察終了時期が当初想定より遅れる見込みとなりました。具体的には、1名は都合により投与が延期になったこと、もう1名は次用量の投与が決定したことによるものです。

なお、本件による PPMX-T003 の導出計画につきましての変更はございません。また、今期業績への影響もございません。

■PPMX-T003 について:

PPMX-T003 は、細胞における鉄の取り込みに関与する TfR1 を標的としています。TfR1 は、通常の細胞よりも多くの鉄を必要とする細胞に極めて多数発現しており、赤血球の元である赤芽球細胞に多く見られます。PPMX-T003 が TfR1 に結合すると、赤芽球細胞内への鉄の取り込みを阻害することで、赤芽球細胞の増殖を抑制します。このため、赤血球が異常に増える疾患である PV に対して、赤血球数を正常化する効果が期待されます。

また、TfR1 は増殖が盛んながん細胞にも多く発現しています。PPMX-T003 が TfR1 に結合すると、がん細胞内への鉄の取り込みを阻害することで、がん細胞の増殖を抑制する効果が見込めます。

なお、PPMX-T003 のアグレッシブ NK 細胞白血病(ANKL)患者さんを対象とした医師主導第 I/II 相試験も現在実施しております。

以上